

い・ゆーKYOTO

人権情報誌

vol. 2006.8

23

わたしとあなた…。それぞれが「愛」と「優」の心をいつも大切に。たがいを認め、支え合うまち・京都を。

あい・ゆーKYOTO

●特集

**あなたの勇気を待っている子どもがいます
～児童虐待は子どもの人権侵害～**

●京にはばたく

伝えたい!という気持ちが大切

京都市国際交流会館 館長 **高木 壽一** さん

●まんがで考えてみよう ●お知らせ

輝きピープル

張本

勲さん

●元プロ野球選手・野球解説者

ちよつとだけ相手のことを思う
それが大切なこと



ちよつとだけ相手のことを思う それが大切なこと

張本

勲さん

●元プロ野球選手・野球解説者

在日韓国人として、早くからその生まれを明らかにしていた元プロ野球選手で野球解説者の張本勲（本名・張勲）さん。在日韓国人としての苦労だけでなく、4歳で右手に火傷を負い、5歳で被爆、高校で甲子園出場の機会を絶たれるなど苦難の連続でした。

そんな逆境にあっても決して諦めず、プロ野球への夢を果たした信念の強さは並々ならぬものがあります。張本さんをそこまで強く支えていたものとは？ 異国の地で、女手一つで子どもたちを立派に育て上げたお母様への思いとともに語っていただきました。

異国の地で苦労する母を助けたい

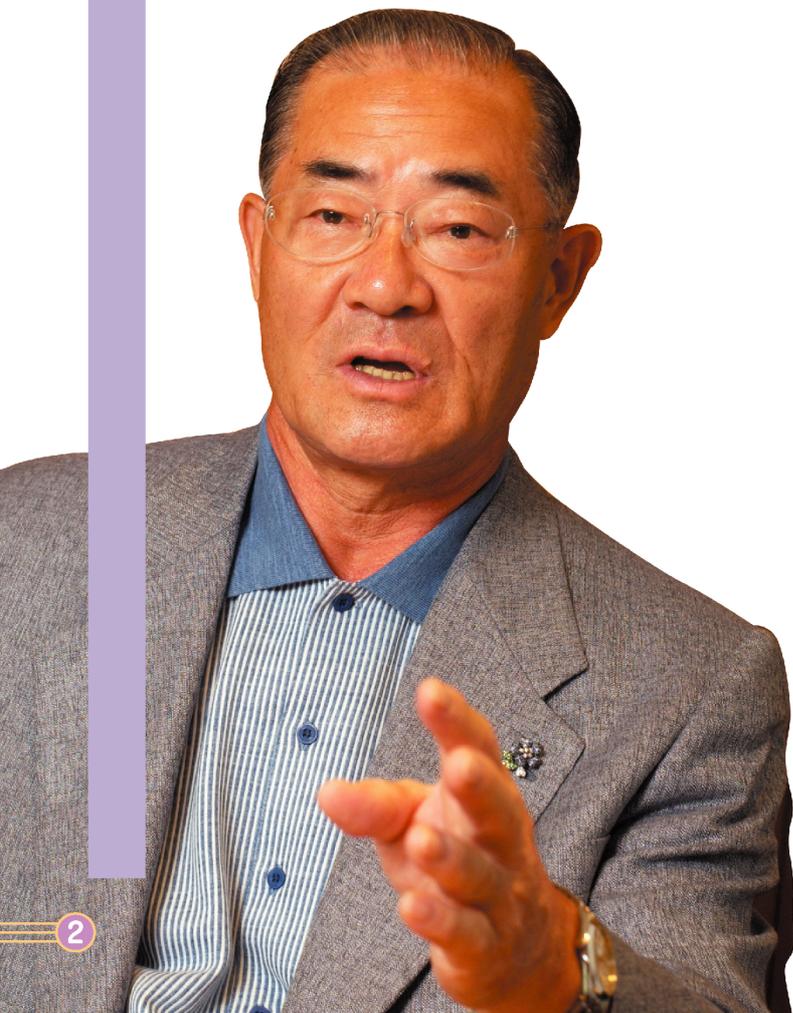
私の父と母は、当時日本領であった朝鮮半島から日本へと渡ってきました。最初は当時の広島県大洲町というところに住んでいて、私が生まれたのは移住から1年ちょっと後のことです。ところが、父が朝鮮へ戻っている間に起こった朝鮮戦争のため、日本との行き来ができなくなってしまい、音信が途絶えてしまいました。

母は4人の子どもを抱え、ひとり日本に残されてしまいました。言葉もわからない国でのことですから、それはもう大変だったと思います。母は自宅の土間にテーブルを出し、簡単なホルモン焼などを出したりして、何とかその日その日の家計をやりくりし、私たちを育ててくれました。

本当に貧乏でね。でも、母はそんな苦労について、いっさい私たちには話しませんでした。一徹っていうんですかね。たとえば、隣り町の闇市へ行くにしても、昭和21年当時、10円か15円だったかのバス賃も節約してね。冬でも手袋ははめない。「何で」と聞いても、「ぜんぜん寒くないから」と答えていました。暑い時期には当然のどが渇くでしょ。でも5円か10円のジュースも買えない。だから共同水道なんかで水を飲む。子どものころはやんちゃすると近所のおばさんたちに、あんたのお母さんはこんなふうには苦労をしているのに、おまえは何をやっているんだって怒られましたね。言葉もわからない、頼れる人もいない異国の地で子どもを育てる。そんな母のひ弱な背中を見ていると、子どもながらに何とかしてやりたいと思ったものでした。10歳年上の兄は母を助けるため、中学を卒業するとすぐに奉公に出ました。最初のころはお小遣い程度しかもらえませんでしたかね。それでも助けにはなるでしょ。

夢への険しい道のり

私が「プロ野球選手になりたい」と切実に思った理由のひとつも、母をあの手で掘って小屋から連れ出してあげたいというものでした。子どものころに見たプロ野球選手たちは、大きなステーキを食べ、たくさんのお金をやりとりしていました。こんなに儲かるなら、母を楽させてやれるんじゃないかとね。しかし、私は子どものころに火傷を負い、右手が小枝ほどのものしか握れない状態でした。しかも5歳で被爆しています。ハンデがあるわけですから、人の何倍



も練習しなきゃいけないと思っていました。

高校は甲子園常連の強豪である浪華商業高校に入りました。ところが、当時の野球部部長が、なぜか私が気に入らなかった。実は私は、高校2年の時からスカウトが来るほど認められ、3年の時には4番を打っていました。しかも、本当に頑張って練習しましたから野球もうまくなる。私がかうまくいけばいくほど部長は面白くなかったんでしょう。上級生たちのしごきが日本高等学校野球連盟に知られ、問題になったとき、「張本を休部させる」ことで事態を収拾してしまっただけです。甲子園出場、そしてプロ野球への夢は消えたと思いました。

ちょうどその時、在日韓国人の選抜チームに選ばれ韓国へ遠征しました。韓国では12、3試合もしたでしょうか。気分を一新して日本へ戻ってくると、プロ野球への誘いが来ていました。

見えない壁を乗り越えて

しかし問題は、当時、外国人選手は1チームに2人までと決められていたことでした。韓国籍の私は当然外国人選手となります。日本で生まれ育っても関係ありません。2人しか採れない外国人枠ですから、各チームは慎重にならざるを得なかったでしょう。そんなとき、東映フライヤーズのオーナー大川博さんが「わしの養子に入り日本国籍にならんか」と言ってくれました。その気持ちはうれしかったですね。でもそんなことは考えられませんでした。そうすると今度は、パ・リーグ会長の立場から「昭和15年以降生まれの人は日本人とみなす」という規約を作ってくださいました。これは本当にありがたかったですね。大恩人です。大川会長がいなければ、プロ野球選手になっていなかったかもしれません。

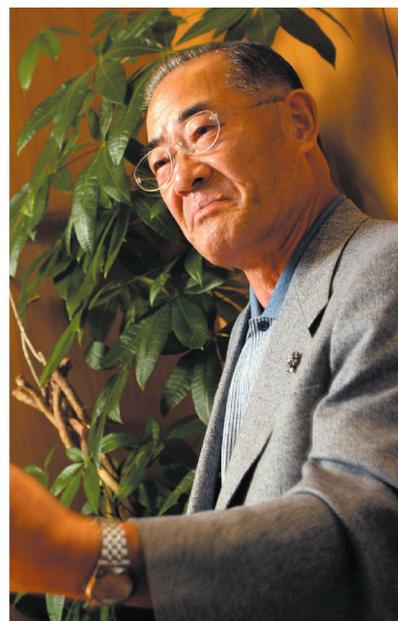
東映フライヤーズとの契約後、契約金200万円を持って兄と2人で実家へと急ぎました。母にそのお金を見せたときの顔は今でも忘れられません。「どんな悪いことをした」と言われましたね（笑）。兄と相談して半分の100万円の家を建てました。トタン屋根で6畳と4畳しかなかったような家から、やっと母を連れ出すことができたのです。

被爆者手帳を受け取って

そんな中、昭和41年、26歳の時に被爆者手帳が支給されたのです。そのときの衝撃は忘れられません。5歳の時の悲惨な光景がまざまざと思い出されました。それまでも被爆したことは覚えていましたが、特に心配していませんでした。でも、手帳が支給されたということは、原爆症を発症する確率が高いからじゃないかって、強迫観念に駆られたのです。

5歳当時、私たちは広島ひろしまの段原新町というところに住んでいました。原爆ドームから直線ひじやまで1.5kmぐらいのところひじやまです。間にあった比治山という山のおかげで原爆の熱波が届かず、しかも母にかばわれたことで私はかろうじて助かっ

たのです。しかし、比治山で勤勞奉仕していた6歳上の姉は被爆し、全身焼けただれて運ばれてきました。2日ほど苦しんだ後、亡くなったのです。それだけじゃありません。避難所に充満する人間の焼けた臭い、わめき声、熱さのあまり川へ飛び込み亡くなる人々。小学校へ通い始めると、同級生には体の不自由な人も多かった。



そんなことが思い出されて、恐怖心もありましたが、憎しみのほうが膨らみましたね。大人同士の争いに、純真無垢な子どもたちを巻き込んで、核で何もかも吹き飛ばそうなんて、人間のできることにゃない。特にかわいがってくれた姉を亡くしていますから、この憎しみは一生消えることはないでしょう。

話し合えば分かり合えると信じて

戦争や野球人生の中で色々つらい思いもしましたが、どんなことでも話し合いで解決できないものはないとも思っています。もし何かどうしても許せないことがあっても、ちょっとだけその怒りを横において、話し合ってみようということです。相手と向き合ってちゃんと話し合えば、必ず分かり合うことができると信じています。

過去の歴史の苦しみ、恐怖感は体験した者にしか分かりません。でもそれを若い人たちにも忘れてもらいたくないから、いろんな犠牲があつて今があること、話し合うことで分かり合えることを、私は言っておかなきゃと思っています。

それに母からは常々「人に迷惑をかけないこと」と言われました。今の人は「だれにも迷惑をかけていない」とよく言いますが、人は生きていれば必ずだれかに迷惑をかけるものです。でもそこで相手の立場になってみる、それが難しいなら自分に置き換えてみる。ちょっとでいいんです。そんな思いが世の中を変えていくんじゃないでしょうか。

PROFILE

張本 勲 (はりもと・いさお)

1940年広島県生まれ。外野手、左投左打。背番号10(東映・巨人・ロッテ)。'59年浪商高から東映フライヤーズ(現日本ハム)に入団。開幕戦からスタメン出場し、打率.275、13本塁打で新人王を獲得。'62年には打率.333、31本塁打で東映のリーグ優勝に大きく貢献しMVPに選出され日本一にもなる。'67年からは4年連続首位打者となり、球界を代表する安打製造機となる。'76年に巨人へ移籍して'76・'77年のリーグ優勝に貢献する。'80年にはロッテに移籍し前人未踏の3085本安打を達成。'81年に現役引退。現在はTBS野球解説者、スポーツニッポン野球評論家として活躍。

児童虐待は 子どもの人権侵害

あなたの勇気を
待っている子どもがいます。

今日、少子化や核家族化が進み、家族の在り方が変わるとともに、地域コミュニティも弱体化し、家庭を取り巻く環境が大きく変化しています。このような中で、出産や子育てに対する不安や葛藤から児童虐待が増えています。

厚生労働省が、速報値として発表した平成17年度の全国の児童相談所や警察に寄せられた児童虐待への対応件数は、34,451件(前年度比1,043件増)と過去最高となっており、家庭や地域における養育機能の低下が深刻な問題になっています。

そこで、すべての子ども達が社会の中で豊かな心を育み、健やかに過ごすために、周囲の私たちができることを考えてみたいと思います。

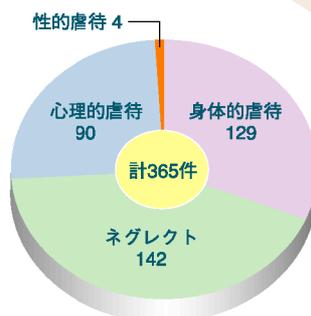
近年、京都市児童相談所に寄せられた通告受理件数等は以下のとおりです。

京都市児童相談所に寄せられた
通告受理件数と虐待認定件数



※通告受理件数…虐待と思われる、通告が受理されたもの
※虐待認定件数…通告のあったものうち虐待と認定されたもの

虐待の種別件数(平成17年度)



※ネグレクト…養育の拒否や放置

どんなこと?

児童虐待とはこんなことです

1 身体的虐待

たたく、蹴る、タバコの火を押しつける、熱湯をかける、風呂などで溺れさせる、くくりつけるなどの暴力でケガをさせたり、苦痛を与えること。

2 ネグレクト(養育の拒否や放置)

家に閉じこめる、乳幼児だけを車内に置き去りにする、同居人による虐待を黙認する、病院に連れていかない、食事を与えないなど。

3 心理的虐待

言葉により脅す、冷たく接する、兄弟間で著しく差別的に扱う、子どもの目の前で家庭内暴力を行うなど。

4 性的虐待

子どもに性的行為を強要する、性器や性交を見せる、強要して裸の写真やビデオを撮るなど。

親はよく「しつけ」や「愛のムチ」といいますが、これらの虐待は子どもの心と身体の健やかな成長や人格の形成に深刻な影響を与えるだけでなく、時には命を奪うこともあります。また、虐待は次の世代に引き継がれることが多く、将来、さらに深刻な社会問題へと発展する恐れがあります。

例えば

あなたの周辺にこんな子どもを見かけませんか？

- 顔や腕、足によく傷やあざをつくっている。
- ひどい泣き声や親の怒鳴り声、頻繁に聞こえる。
- 衣類や体がいつも汚れている。
- 夜、何時間も外に出され、家に入れないでいる。
- 学校に行く姿をあまり見かけない。
- 暗くなっても外を歩き回り、家に帰りがらない。
- 表情が暗く、いつもオドオドしている。
- 他の子どもとよくトラブルを起こしたり、乱暴である。

こんな子どもがいたら、「ひょっとしたら虐待かも？」と気付いてください。あなたの気付きがこの子どもたちを救うのです。



子どもの
SOS

子どもたちはとても苦しんでいます

虐待は、家庭という密室で起きる出来事で、家族だけの問題と片付けられがちです。そのため、周りの人が口出ししにくいかもしれません。しかし、他人に訴えることで、さらにひどい仕打ちを受けることになったり、親に見捨てられないかとおびえ、子どもたちは自ら訴えられない場合もあります。

「自分が悪いからだ」と思っている子どももいます。

虐待を受けていると思われる子どもたちのサインを、周囲が早くキャッチして、援助の手に結びつけてあげなければなりません。



親の
SOS

実は親も悩んでいます

虐待をする親はひどい親だと思いがちですが、その親自身も子育てや家庭問題で悩んでいたり、地域で孤立している場合があります。そのストレスを子どもに向けていることも多いのです。

親を責めるだけでは、決して虐待の解決にはなりません。虐待は親自身からのSOSであることも少なくないのです。



あなたの電話が子どもを救う

児童虐待の早期発見と防止のために

子どもを虐待から守るためには、子どもの立場が最優先されなければなりません。そして、それができるのは「あなた」と「専門機関」との連携です。そこで、虐待を受けているかもしれない子どもを発見したときは、まず専門機関への連絡という行動を起こしましょう。

専門機関は、連絡した人が誰か特定されてしまうような情報は絶対に漏らしません。秘密は必ず守られるので安心して連絡してください。

連絡はどこにすればいいの？

子どもや親からのSOSをキャッチしたら迷わず、すぐにこちらへご連絡ください。



連絡先

京都市児童相談所 ☎801-2929

子ども虐待SOS ☎801-1919 〔24時間相談受付〕

子ども支援センター 〔連絡は各区・支所福祉事務所まで〕

● 京都市国際交流会館 館長

たかぎ ひさかず

高木 壽一さん

伝えたい！という 気持ちが大切

平成16年3月に京都市の副市長を退任し、現在は京都市国際交流会館の館長を務める高木壽一さん。今年5月、60歳以上のシニア世代を対象とした「館長の英語Café」を開催し、話題を呼んでいます。笑い声の飛び交う、朗らかな異文化コミュニティを紹介します。



高木さんが英語Caféを始めたのは、「自分ができているを生かして、社会の役に立ちたい」と考えたのがきっかけでした。

「言葉はあくまでもコミュニケーションの一手段。国が異なっても、自分の思いを伝えよう、相手の気持ちを理解しようとする姿勢が一番大切。無理に文章にしなくても

いいし、aやtheなどの冠詞なども気にしなくていい」と、だれもが気楽に楽しめる英会話の交流拠点になってほしいという思いから、「英語教室」ではなく「英語Café」と名付け、お茶を飲みながら会話を楽しめる場を創りました。

「シニア限定で、コーヒーを飲みながらすぐに使える英会話が学べるので楽しいですね。海外旅行が好きで、現地の人たちとできるだけ触れ合いを持ち、その国の文化を知りたいので参加しました」という60歳代の女性や、「海外に行ったとき、現地の人が片言でも日本語で話しかけてきてくれるととても心が和みました。その経験から自分も海外からの観光客に話しかけられたらできるだけ英語で返すようにしていますし、また多くの京都市民がそんな気持ちを持ってほしいと思います」と語る女性。また「今のところ私は皆勤賞ですよ」という75歳の男性は伝統工芸に携わる仕事柄、海外からの見学者に対応する機会があるなど、皆さんそれぞれの立場で、外国の人たちと交流したいと願い参加しておられます。

内容は「道案内や旅行など参加者の要望に応じたテーマで、現地ですぐに使える単語や、やりとりを紹介しています」と高木さん。例えばレストランをテーマにした



時には、よく使われる英単語を中心に、「チップはいつ、どうやってだれに渡すの?」、「ワインの選び方は?」、「服装は?」から、外国の文化や習慣も話題になります。

「英語を通して、異文化に関心を持ってもらえたらうれしいですね。多文化共生というと漢字ばかりで難しく感じますが、互いの国のことを知り、違いを分かり合うこと、つまりみんなが楽しく豊かに暮らせることが大切です」。

「外国からの観光客や外国籍市民が困らないかどうかで、その地域の国際交流度が高いかがわかると思います。京都は、海外からの観光客も多いし、もっと国際交流度を高める必要があると思います。その第一歩は、困っている人がいたら助けてあげたい、そんな当たり前の気持ちです。まずは相手に関心を持つこと。それが国際交流度を高める基本だと思います」と高木さん。

自分の思いを知らせ相手のことを知る手段が「言葉」です。話せるか話せないかではなく、「話そう、伝えよう」という心を持つことが人とのつながり、交流に一番必要なこと。単語だけでもいいのです。互いが寄り添い、思いやる心が、豊かな暮らしの第一歩なのですから。



館長の英語Café

開催日 毎週水曜日 午前10時半～12時

会場 京都市国際交流会館

【お問合せ先】

TEL 752-3511 FAX 752-3510

※次回は9月開講予定。詳しくは「市民しんぶん」9月1日号参照。



『性同一性障害』 ご存知ですか？

だれもが自由で、尊厳と権利が
平等にあることを「人権」といいます。
みなさん、四コマまんがを通して
人権について考えてみませんか？



◆性同一性障害 (GID) とは?

「性同一性障害 (GID)」とは、持って生まれた体の性と心の性に強い違和感を抱き、体の性とは別の性に属していると感じる疾患であり、症状としては、自分の性器に対して嫌悪感を抱く、反対の性別の服装や遊びを好む、日常生活の中で反対の性別として行動することなどがあげられます。治療には、ホルモン療法や性別適合手術などがあります。

◆現 状

性同一性障害に対する社会の理解はまだまだ低いのが現状です。そのため、外見と戸籍上の性別が異なることから様々な偏見や差別にさらされ、当事者自身が精神的な苦痛を受けるだけでなく、就職がしづらいなど社会参加が困難な状況にあります。

このような状況を解消するため、平成16年に、20歳以上であること、未婚であること及び子どもがいないこと等を条件に戸籍上の性別変更を認める「性同一性障害特例法」が施行され、自分が性同一性障害者であることをカミングアウト（公言）する人も増えてきているなど性同一性障害に対する認知は徐々に進みつつあります。

最近では兵庫県在住の小学校二年生の男子が女子として通学していることが明らかになりました。

私たちが、関心を持ち、相手を理解することにより、だれもが自分らしく生きられる社会が実現できるのではないのでしょうか。

イラスト：坂上加奈子
〈京都精華大学 マンガ文化研究所〉

特別展

柳原銀行記念資料館特別展

京都市東山区の今村家が所有する文書や絵図から柳原の歴史と崇仁の成り立ちを明らかにし、身分差別の時代をたくましく生きぬいた人々の様子をお伝えします。

無料

- **テーマ** 大仏柳原庄の景観
～閉ざされた歴史に光を そして壁を越えて～
- **開催期間** 平成18年7月18日(火)～9月16日(土)
- **開催場所** 柳原銀行記念資料館
(崇仁コミュニティセンター資料展示施設)
- **開館時間** 10:00～16:30
- **休館日** 日曜日、祝日、休日、第2・4土曜日

ワークショップ
開催

日 時 8月26日(土) 10:00～12:00
テーマ 「大仏柳原庄を歩く」
集合場所 柳原銀行記念資料館前
申込方法 電話またはFAXにて8月21日(月)までに下記へ。先着30名

【お問合せ】崇仁コミュニティセンター
☎371-8220 FAX.371-7706
※団体見学のみ事前申し込みが必要です。



講演会

平田オリザ講演会 「男女の対話を阻むものは何か？」

劇団「青年団」を率いて世界中を駆け回る劇作家で演出家の平田オリザさんを講師にお迎えし、男女共同参画に関するお話を伺います。

- **日 時** 平成18年9月17日(日)
13:30～15:30 (13:00開場)
- **会 場** 京都市男女共同参画センター
ウィングス京都2F イベントホール
- **定 員** 240名
- **参加費** 500円
- **その他** 保育あり ※保育希望の方は9月3日までにお申し込みください。
(6カ月以上就学前のお子さま、有料 一人800円)

【申込・お問合せ】京都市男女共同参画センター内
(財)京都市女性協会・事業調査係へ電話またはメールで
☎212-8013 e-mail: jigyo@wings-kyoto.jp



講演会

講演の集い ～私たちと人権～ 「自分らしく生きる自由がある」

- **日 時** 平成18年8月26日(土) 14:00～
- **会 場** アピカルイン京都
- **講 師** 評論家 樋口恵子さん
- **落 語** 落語家 林家花丸さん

入場無料

【お問合せ】左京区役所まちづくり推進課
☎771-4246 FAX.761-0054
※手話通訳が必要な方は8月17日(木)までにお問合せ先まで

作品募集

人権“ほっと”写真を募集します！

フォト



人権の大切さが感じられる心温まる写真を募集します。

平成17年度 ほっとフォト賞
「ひかり」
高橋 修さん[東山区]

詳しくはホームページでご確認ください。

- **人権文化推進課ホームページ**
<http://www.city.kyoto.jp/bunshi/jinken>
- 【お問合せ】人権文化推進課 ☎222-3381

作品募集

心の輪を広げる体験作文・ 障害者週間のポスター募集！

障害のある人とない人との相互理解の促進を図るため「心の輪を広げる体験作文」と「障害者週間のポスター」を募集します。

【心の輪を広げる体験作文】

- **募集テーマ** (題名は自由) 出会い、ふれあい、心の輪
—障害のある人とない人との心のふれあい体験を広げよう—
- **規格** 小中学生は400字詰原稿用紙2～4枚
高校生・一般は400字詰原稿用紙4～6枚

【障害者週間のポスター】

- **募集テーマ**
障害の有無にかかわらず誰もが能力を発揮して安全に安心して生活できる社会の実現。
- **規格** 小中学生対象
B3版または四つ切画用紙 (いずれも縦長)

【応募方法】

いずれも別紙に住所、氏名、生年月日、性別、電話、FAX番号、学校名、学年、障害の有無や程度を明記して9月8日(金)必着。

【応募・お問合せ】京都市保健福祉局障害企画課
☎222-4185 FAX 251-2940



見学会

「人権施設見学会」

- **日 時** 平成18年9月28日(木)
- **場 所** 大阪人権博物館「リバティおおさか」(大阪市浪速区造幣博物館 (大阪市北区))
- **参加費** 500円 (65歳以上は無料)
- **定 員** 先着30名

【お問合せ】中京区役所まちづくり推進課
☎812-2426 FAX.841-8182

本誌は、年4回(5月、8月、11月、2月)発行します。区役所・支所のまちづくり推進課、市役所の市政案内所ほかで配布しています。郵送をご希望の方は、返信用切手(120円分)を同封のうえ、京都市人権文化推進課までお申し込みください。

同じです あなたとわたしの 大切さ



発行日 平成18年8月1日
発行 京都市文化市民局市民生活部人権文化推進課
〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上
上本能寺前町488番地
☎075(222)3381
<http://www.city.kyoto.jp/bunshi/jinken/>
京都市印刷物第183059号